

## 東海大学学生ハイブリッドロケット打上げ実験結果速報文

平成 17 年 3 月 14 日

東海大学学生ロケットプロジェクトチームによるハイブリッドロケット打上げ実験は、37名の学生が参加し、平成17年3月13日13時55分56秒、北海道広尾郡大樹町から打ち上げられ、高度355mでパラシュートを開傘し、発射後62秒搭載機器およびロケットの回収に成功しました。

学生が自主開発した国産初のマイクロワックスと亜酸化窒素を用いたロケットエンジンの性能特性および火薬を使わない無火薬式分離機構の動作試験は正常に動作し、貴重なデータを取得できました。また、搭載された加速度計、気圧高度計、テレメータ、フライトコンピュータ、タイマーおよび搭載カメラのデータもほぼ正常に得られました。観測班は、地上からのロケットを追跡し、立体的なロケットの軌跡を決定できました。発射時の天候は晴れ、気温1度、地上風は北北東の風0.7mでした。

大樹町および関係各位のご協力に感謝いたします。

東海大学学生ロケットプロジェクトチーム

